

TECHNICAL DATA

塗装仕様	欠損部補修用軽量ポリマーセメントモルタル (繊維混入)
製品名	BR-CL

第7版 作成日：2020年 6月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

塗装仕様：欠損部補修用軽量ポリマーセメントモルタル(繊維混入)

製品名：BR-CL

素地：コンクリート・セメントモルタル等

部位：内外部（建築物の内外装工事の下地調整塗材）

用途：コンクリート・モルタル等の欠損部充填補修用

1. 工程表

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
断面修復	BR-CL 主材：20kg 混和液：2kg 清水：2.5~3.5L	コテ	1以上	24以上	約1.6m ² /セット 約13.6kg/m ² (10mm厚)

単位容積質量：約1.55kg/L(練り上り容量：約16L)

練り混ぜ後の可使用時間：1時間以内(20℃)

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

2. 材料荷姿

断面修復材：BR-CL

主材 NET：20kg/袋

混和液 NET：2kg/ポリ容器

3. 施工要領

3-1. 素地調整

- 素地の乾燥は、十分に行ってください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 汚れおよび付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いを行ってください。
- 下地面に残留する金属（番線・釘等）は除去してください。

3-2. 材料の混ぜ合わせ

- 製品は空練りを行った後、練り混ぜを行ってください。
- 製品はミキサーでダマが残らないように十分に練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は必ず清水を使用してください。
- 練り混ぜ後、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、希釈によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り足し、水を加えての練り戻しはしないでください。
- 既調合タイプの製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を加えないでください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。

3-3. 施工

- 下地が極度に乾燥している場合は、適度の水湿しを行ってください。
- コテを用いて所定の厚みに塗り広げてください。
- 不陸が大きい時は、はじめ刷り込むようにして不陸調整を行い、最後に均一な厚さに塗付けてください。
- 1回の塗り厚は30mm以下です。それ以上厚塗りする場合は、数回に分け、塗り重ねは櫛目を入れて硬化状態を確認しながら行ってください。
- 大きな面積については、アンカーピン、ステンレス線、メッシュ等を併用して施工して下さい。

成分表

断面修復材 : BR-CL

内	容	重 量 (%)
無機質結合材		42.8
骨材		56.7
添加剤(繊維等)		0.5
	計	100.0

: BR-CL 混和液

内	容	重 量 (%)
カチオン系アクリル樹脂エマルション		100.0
	計	100.0

性能試験成績表

塗装仕様	欠損部補修用軽量ポリマーセメントモルタル	
製品名	BR-CL	
供試材料	BR-CL	
試験方法	JIS A 6916-2014に準拠（下地調整塗材 CM-2）	
試験項目		結果
軟度変化(%)	-20~20	-2
耐ひび割れ性	ひび割れがない	合格
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれがない	合格
曲げ強さ(N/mm ²)	5.0以上	6.2
圧縮強さ(N/mm ²)	10.0以上	26.1
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	1.0以上
	低温養生	0.7以上
吸水量(g)	2.0以下	0.1
透水量(ml/h)	0.5以下	0.3
長さ変化(%)	0~-0.15	0.03
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性(N/mm ²)	割れ、膨れ及び剥がれがなく、付着強さは1.0以上とする。ただし、仕上塗材だけで破断した場合は0.7以上とする。	1.9
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性(N/mm ²)	付着強さは0.6以上とする。	0.9

塗装仕様	欠損部補修用軽量ポリマーセメントモルタル	
製品名	BR-CL	
供試材料	BR-CL	
試験方法	公共建築協会ポリマーセメントモルタルの評価基準に準拠	
試験項目		結果
曲げ強さ(N/mm ²)	0.6以上	28日 6.4
圧縮強さ(N/mm ²)	20.0以上	28日 26.1
だれ	下がり量(mm)	5以内 0
	表面状態	ひび割れの発生がないこと 合格
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着がないこと 合格	
付着強さ(N/mm ²)	標準条件	1.0以上 1.9
	特殊条件	湿潤時 0.8以上 2.7
		低温時 0.5以上 2.9

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。